



No.200

心臓財団 季報

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○ Tel 03-3201-0810 ○ Fax 03-3213-3920 ○ e-mail:info@jhf.or.jp ○ http://www.jhf.or.jp/

September 10, 2010

平成22年度日本心臓財団研究奨励事業募集

明日を担う若き研究者を対象に、心臓血管病(心臓病、脳卒中、高血圧、動脈硬化症等)の成因、治療あるいは予防に関する独創的研究に対する助成を行います。本年度より、40歳未満を対象とした研究奨励応募者の中から、基礎研究者および女性を対象とした入澤宏・彩記念研究奨励金の助成を行うことにいたしました。

1. 研究奨励金および応募資格

I) A: 第36回日本心臓財団研究奨励

1件200万円を10件。

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる40歳未満の研究者(1970年4月1日以降に生まれた者)

B: 第1回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

1件100万円を3件。

Aの応募対象者のうち基礎研究室に所属する研究者

C: 第1回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

1件100万円を1件。

Aの応募対象者のうち女性研究者

II) 第8回日本心臓財団若年研究者研究奨励(藤基金)

1件50万円を4件。

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる30歳未満の研究者(1980年4月1日以降に生まれた者)

なお、応募はひとり1件(IまたはII)。いずれかの研究奨励金を過去に受けたものは、同一の研究奨励金を受けることができません。

2. 応募方法・期間

当財団HPより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記載して事務局宛送付してください。10月15日締切り。

入澤宏・彩記念研究奨励および女性研究奨励の設立

1991年に逝去された入澤宏先生(岡崎国立共同研究機構生理学研究所名誉教授)の夫人で入澤彩先生が2009年に逝去され、遺贈として日本心臓財団にご寄附がありました。故人の遺志に従い、当財団で1992年より2001年まで10年間実施していた入澤宏記念研究奨励と同様に若手基礎研究者に対する助成、および彩先生の希望により女性医師への研究助成を目的とした事業に使用することとし、本年度より故人の名を冠した入澤宏・彩記念研究奨励および女性研究奨励を開始することになりました。

本助成は、日本心臓財団研究奨励に応募された中より、本助成にふさわしい研究者に与えるものいたします。

2010年 健康ハートの日

1985年に、8月10日を「健康ハートの日」として日本心臓財団が心臓病・脳卒中予防の呼びかけを始めてから、今年で25年が経ちました。この間に「生活習慣病」という言葉が生まれ、最近では「メタボ」という言葉も流行し、心臓病・脳卒中予防に対する関心度は非

常に高まっています。

そうしたなか、今年も8月10日を中心に、東京、豊橋、名古屋、岐阜の各地で無料健康診断やAED講習、市民講演会などが行われ、多くの市民が自分の健康チェックや心臓病・脳卒中に関する知識を学びました。

ハートの日・健康フェア～東京・丸の内オアゾ

「小さなサイン、見落としていませんか」をテーマに、動脈硬化度測定、携帯型心電計測定、血圧測定、体脂肪測定、健康相談を行い、またAED体験も実施しました。



第11回ハートの日～豊橋・ホテル日航豊橋

「心臓病を予防しよう」をテーマに、アナウンサーの徳光和夫さんや小説家の宗田理さんを交えた講演会、豊橋少年少女合唱団によるコンサート、血液検査を含む健康測定や健康相談、AED体験などが行われました。



ハートの日 inNAGOYA ～名古屋・国際会議場

「健やかに老いる」をテーマに、市民向けの医学講演とともに、日本舞踏西川流第三代家元の西川右近師匠と中京大学体育学部長の湯浅景元先生による踊りで筋力を鍛えるNOSS踊りの実演と指導が行われました。



ハートの日 inGIFU ～岐阜・県民ふれあい会館

市民向け講演会やギターリスト谷本光さんによるアコースティックギターの演奏が行われました。また、健康相談、AED体験なども行われました。



予防医学のための携帯型心電計普及事業

日本心臓財団では設立40周年を記念して、かねてより目標としてきました「自分の健康は自分で守る；予防のための医療機器の家庭への普及」の一環として、家庭用(携帯型)心電計の普及啓発事業を開始することにいたしました。

予防医学のための携帯型心電計普及委員会

委員長	小川 聡	国際医療福祉大学三田病院 病院長
	小沢友紀雄	MJG心血管研究所所長
	加藤 貴雄	日本医科大学教授
	杉本 恒明	関東中央病院名誉院長

その事業の一つとして、「予防医学のための携帯型心電計普及研究助成」を公募し、審査の結果、右記の研究を助成対象といたしました。

予防医学のための 携帯型心電計普及研究助成選考委員

委員長	児玉 逸雄	名古屋大学名誉教授
	田邊 晃久	元東海大学教授
	村川 裕二	帝京大学教授
	山下 武志	心臓血管研究所理事

◆募集要項

循環器疾患の予防・早期発見を目的として携帯型心電計を日常生活内で使用した場合の有用性の検証を目的とした研究。

◆助成対象者

1 携帯型伝送心電計を用いた在宅心臓リハビリテーションの安全性と有効性の評価

大橋成孝
国際医療福祉大学三田病院心臓センター 7,000,000円

2 中高年登山者における登山中の心肺機能と突然死予防に関する研究

春木宏介 獨協医科大学越谷病院 15,000,000円

3 海外赴任者の携帯型心電計による日常心臓健康管理

加部 勇 古河電気工業株式会社産業医 10,000,000円

4 携帯型心電計を用いた疫学的・医学的調査と推進

笠巻祐二 日本大学医学部循環器内科学分野 15,000,000円

5 携帯型心電計による運動時心電図モニターの有効性の検討

小沢友紀雄 MJG心血管研究所 54,000,000円

「AEDは、話します。」

7月から、日本心臓財団とACジャパンが協力して作成しているAED普及ポスターが新しくなりました。

今回は、「AEDは、話します。」というタイトルで、AEDには音声ガイド機能があり、それに従えば誰でもAEDを使った救命ができるということを強調しました。

突然、目の前で人が倒れたら、助けたいと思う反面、自分にできるだろうかと不安になるのではないのでしょうか。そうしたとき、AEDがガイドしてくれることを知っていれば、不安が減るのではないか、と思われるからです。

AEDは知っていても、AEDに音声ガイド機能があることまでは、あまり知られていません。音声があなただの勇気を「後押し」してくれます。

なお、AEDの多くの機種では、耳の聞こえない方でも操作できるよう、音声とともに文字がディスプレイ表示

される機能がついています。また、電気ショックが必要な場合には、間違えてボタンを押しても作動しません。



ご支援ありがとうございます

本年度も賛助会員としてご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(敬称略：2010年5月～8月)

相澤 義房	上島 弘嗣	片見 初江	久家 英子	鈴木 常雄	仲村 英一	福田孝太郎	八木 繁	青沼 和隆	上田 一雄	勝村 達喜	楠川 禮造	須磨 幸蔵	中村 真潮	藤山 武史	矢崎 義雄
青柳 成明	浦澤 一史	加藤 逸夫	久保田 徹	住吉 昭信	西川 章	藤原 久義	安井 健二	足達 寿	大川眞一郎	加藤 貴雄	甲谷 哲郎	清野 精彦	西村 重敬	細田 瑛一	安井 昭二
新 博次	大島 文雄	加藤 正明	古賀 義則	千田 彰一	沼口宏太郎	細野 清士	泰江 弘文	安孫子 保	大村外志隆	金丸 憲司	後藤 紘司	高野 照夫	野村 雅則	本荘 晴朗	矢永 尚士
天野 篤	大和田憲司	加納 達二	小柳 仁	高本 眞一	橋場 邦武	松井 哲郎	柳瀬 義男	有田 眞	岡崎 修	河合 忠一	斎藤 能彦	武田 信彬	馬場 俊六	松浦 秀夫	山口 巖
飯村 攻	岡島 光治	川田 志明	坂田 隆造	田中 元直	浜重 直久	松浦雄一郎	山崎 純一	石川 雄一	岡田幾太郎	川名 正敏	坂本 三哉	塚本 宏	早川 弘一	松岡 博昭	山下 武志
磯村 正	岡田 了三	河村慧四郎	篠山 重威	辻 幸臣	林 輝美	松澤 佑次	山田 和生	市川 悦	岡本 登	川村 晃久	佐地 勉	堤 健	林 直彦	松永 正人	山村 憲
一色 高明	岡本 洋	菊田 征勇	澤井 廣量	鄭 忠和	林 秀晴	松本 万夫	家森 幸男	伊藤 貞嘉	小川 勝	菊池健次郎	志立 託爾	戸嶋 裕徳	早野 元信	三浦 傳	吉永 正夫
伊藤 七郎	奥村 謙	岸田 浩	島田 和幸	富永 隆治	半田俊之介	皆越 眞一	渡辺 滋	伊藤 隆之	奥村 健二	北 島 顕	島本 和明	外山 淳治	比江嶋一昌	宮崎 治浪	渡辺 務
井上 博	小澤 利男	北村惣一郎	下川 宏明	豊嶋 英明	東 あかね	宮原 嘉之		今泉 勉	小沢友紀雄	木之下正彦	白土 邦男	永井 良三	東崎喜代乃	村田 和彦	他匿名25名
今村 聡	尾前 照雄	木原 康樹	杉澤 和美	長澤 一成	菱田 仁士	村山 正博		岩 喬	尾本 良三	木村 和雄	杉本 恒明	中野 赳	日和田邦男	望月 茂	
岩井孝明	鍵山俊太郎	木村玄次郎	杉山 正悟	永野 允	福慶 逸郎	元村 啓司									

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。(2009年12月～2010年8月)

入澤 彩 様	広島県広島市	42,000,000円
匿名		10,333円
山本 勝利 様	大阪府大阪市	1,000円
匿名		1,000円
匿名		10,000円
小松 晴茂 様	高知県安芸市	100,000円
吉川 明美 様	埼玉県川口市	1,000,000円
匿名		30,000円
匿名		10,000円
匿名		10,333円
翠 哲平 様	東京都杉並区	10,000円
匿名		50,000円
匿名		50,000円
匿名		5,000円
匿名		5,333円
佐川 清 様	茨城県常盤太田市	10,000円
阿久津昌子 様	東京都足立区	6,000円
匿名	オーストラリア	17,928,429円
匿名		14,333円
匿名		30,000円

●心臓財団からのお願い●

～ご寄付ならびに賛助会ご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

ゆうちょ銀行一般振替口座00140-3-173597
宛て先 財団法人日本心臓財団



●お近くにお越しの際はお立ち寄り下さい。●